

# 「絵を描く野菜ソムリエ」頂点に 福岡の吉田聡さん

## 第5回 Jr. 金賞はウェディング演出の佐々木久美子さん

日本野菜ソムリエ協会（福井栄治理事長）では、第5回「野菜ソムリエアワード」を開催した。これは1年間を通じて最も活動した野菜ソムリエ等を選出、表彰するもの。そのうち野菜ソムリエ部門の金賞は「絵を描く野菜ソムリエ」として活動している吉田聡さん（福岡県）が初受賞。またジュニア野菜ソムリエ部門の金賞には、野菜・果物でウェディングやパーティーを演出する会社「ベジフルデザイン」を立ち上げた佐々木久美子さん（東京都）が選ばれた。

そのほか野菜ソムリエコミュニティ部門では野菜ソムリエコミュニティおおさか、認定料理教室部門では「OGAWA's Cosy Kitchen」（運営者＝小川美樹子さん、石川県、2年連続）、認定レストラン部門では「ゆと森倶楽部 けやき食堂」（宮城県）、認定青果取扱店部門では「野菜ソムリエのお店 門司かのえ」（福岡県、2年連続）、ベジフルフラワーアーティスト・プロフェッサー部門では中島梅さん（愛知県）、ベジフルフラワーアーティスト部門では山中節子さん（千葉県）、ベジフルカッティング部門ではEMIKAさん（東京都）が、それぞれ金賞に輝いた。



吉田さん（写真左）は広告業界に20年間携わっており、野菜・果物のイラストを毎日描き始めて4年になる。昨年は野菜ソムリエとして初めて個

野菜・果物のイラストでPRをサポート  
吉田聡さん



各部門の入賞者と福井理事長（前列右から3人目）



2016 4.17

熊本震災直後に吉田さんが描いたイラスト。九州各県の特産品に応援の思いを込めている

展を開き、また野菜ソムリエによる食に特化したコンサルティング会社として取材活動も行う



「あどベジ」を立ち上げた。商品開発、店舗づくり、集客サポートなどを行う。一例を挙げると、レストランの壁一面をカラフルな野菜・果物のイラストで埋め、ランチコンマットにもイラストを採用し、集客アップにつなげている。

ベジフルフラワーイベントを演出  
佐々木久美子さん

一方、佐々木さん（写真右）はジュニア野菜ソムリエのほか、野菜・果物をブーケやおブジェとして仕立てる「ベジフルフラワーアーティスト・プロフェッサー」も取得。それを活かしたウェディングなどの演出を行い、「野菜を食べるきっかけを創る会社」を目指している。また野菜ソムリエによる試食販売、食育イベントなどのほか、今月から農経新聞社のライタ

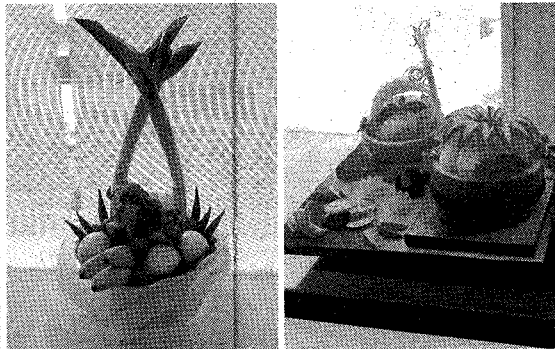


ていく。

産地見学で生まれたレシビを発信  
コミュニティおおさか

発などを行ってきた。メンバーで好きな野菜・果物や思い出など、野菜・果物にまつわることをつづる「数珠つなぎブログ」も実施している。

野菜ソムリエコミュニティおおさか（写真下、右は代表の角倉咲子さん、左は植谷佐江子さん）では、地場産青果物の普及をサポートする「大阪産（もん）うれしぴプロジェクト」で、「なにわの伝統野菜スー」の配布や「八尾若こほう」を使ったレシビ開



（左から）ベジフルフラワーアーティスト・プロフェッサー中島梅さん、ベジフルフラワーアーティスト山中節子さん、ベジフルカッティングEMIKAさんの受賞作品